学校番号	1015

平成 31 年度　地理・歴史科

教科	地理・歴史	科目	日本史Ｂ乙	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版）						
副教材等	最新日本史図表　新版二訂（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史 B 乙では日本の歴史の幕藩体制の展開から現代までを中学校の時よりも深く勉強していきます。多くの歴史用語が出てきますが、まずは歴史の流れをつかんでください。その上で勉強していくとスムーズに勉強できると思います。しかし、多くの歴史用語が出てくるのは確かなので、毎日復習して知識を定着させることが大切です。提出物は期限までに出し、定期考査も計画的に勉強しましょう。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト （論述問題など） ・レポート課題 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト （資料の読み取り） ・レポート課題 ・史資料の読み取り	・学習状況の観察 ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="5">前期中間</td><td rowspan="4">幕藩体制の動揺</td><td>1. 幕政の改革</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">a:幕藩体制の動揺と変容、社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。
b:幕藩体制の動揺と変容、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、近代化への基盤の形成から課題を見いだし、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
c:幕藩体制の動揺と変容、社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
d:幕藩体制の動揺と変容、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、近代化の基盤の形成についての基本的な事柄を、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて理解し、その知識を身につけている。</td><td rowspan="5">・学習状況の観察
・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等
・定期テスト</td></tr>
<tr><td>2. 宝暦・天明期の文化</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>3. 幕府の衰退と近代への道</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>4. 化政文化</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>近代国家の成立</td><td>第Ⅳ部　近代・現代
1. 開国と幕末の動乱</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>a:開国から幕府の滅亡にいたる過程、新政府の政策に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。また、日清・日露戦争</td></tr>
</table>

		2. 明治維新と富国強兵		○	○	○	とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:江戸幕府が倒れていく過程や新政府がとった政策とその結果について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 また日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清・日露戦争の経過やその結果について考察し、適切に表現している。 c:明治維新、文明開化、自由民権運動などの様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:開国が与えた影響や討幕運動の特徴を理解し、その知識を身につけている。新政府の政策の特徴や自由民権運動の内容を理解し、その知識を身につけている。日清・日露戦争のそれぞれの性格と特徴を理解し、その知識を身につけている。	
前期期末		3. 立憲国家の成立と日清戦争		○	○	○		・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		4. 日露戦争と国際関係		○	○	○		
		5. 近代産業の発展		○		○		
		6. 近代文化の発達	○			○		
	二つの世界大戦とアジア	1. 第一次世界大戦と日本		○	○	○	a:第一次世界大戦とその影響などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。また第二次世界大戦へいたる経過とその結果、アジア近隣諸国との関係などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b:第一次世界大戦の経過やその結果について考察し、適切に表現している。日本国内の政治、経済の状況と世界の動向を関連付けながら、日本のお	
		2. ワシントン体制		○		○		
		3. 市民生活の変容と大衆文化	○			○		

後期中間		4. 恐慌の時代		○		○	こなった戦争の性格について考察し、適切に表現している。 c:第二次世界大戦に関する諸資料を収集し、戦争の様子を調べるための情報を適切に選択している。 d:戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどのような性格であったかや戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その知識を身につけている。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		5. 軍部の台頭		○		○		
		6. 第二次世界大戦		○	○	○		
	占領下の日本	1. 占領と改革	○			○	a:占領下の政治や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:我が国の再出発及びその後の政治から課題を見いだし、占領政策や諸改革と関連づけて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:占領下の政治や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:我が国の再出発及びその後の政治についての基本的な事柄を、占領政策と諸改革と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	
		2. 冷戦の開始と講和		○		○		

後期期末	高度成長の時代	1. 55 年体制		○		○	a:55 年体制や高度経済成長、国民生活の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:日本経済の発展と国民生活の変化から課題を見いだし、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発展、経済の国際化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:高度経済成長や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:日本経済の発展と国民生活の変化についての基本的な事柄を、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		2. 経済復興から高度成長へ	○		○	○		
	激動する世界と日本	1. 経済大国への道	○		○	○	a:現代の社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的に捉え、その過程や結果を適	

		2．冷戦の終結と日本社会の動揺		○		○	切に表現している。 c:現代の社会や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:現代の世界と日本についての基本的な事柄を、国際交流や国際貢献の拡大と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	
	歴史へのアプローチ	歴史の論述 歴史の流れを組み立てる	○	○	○	○	a:社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、考えを論述しようとしている。 b:社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などから課題を見いだし、適切な主題を設定して多角的・多面的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、考えを論述している。 c:社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて総合的に理解し、その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。